

FX NEWS PRESS

2023年
8月号

2023年8月2日発行
FXニュースプレス
(No.200)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

7月FOMCは利上げ再開もサプライズなし。
FRBは年内あと1回の利上げを想定？

【WEBセミナーのご案内】

- ▶ 叶内文子の「円活倶楽部Ⅱ」
馬淵治好氏登壇！
経済アナリストはどこをみる？
「わかる為替相場の仕組み」

8/26(土) 14:00～15:00 【無料】

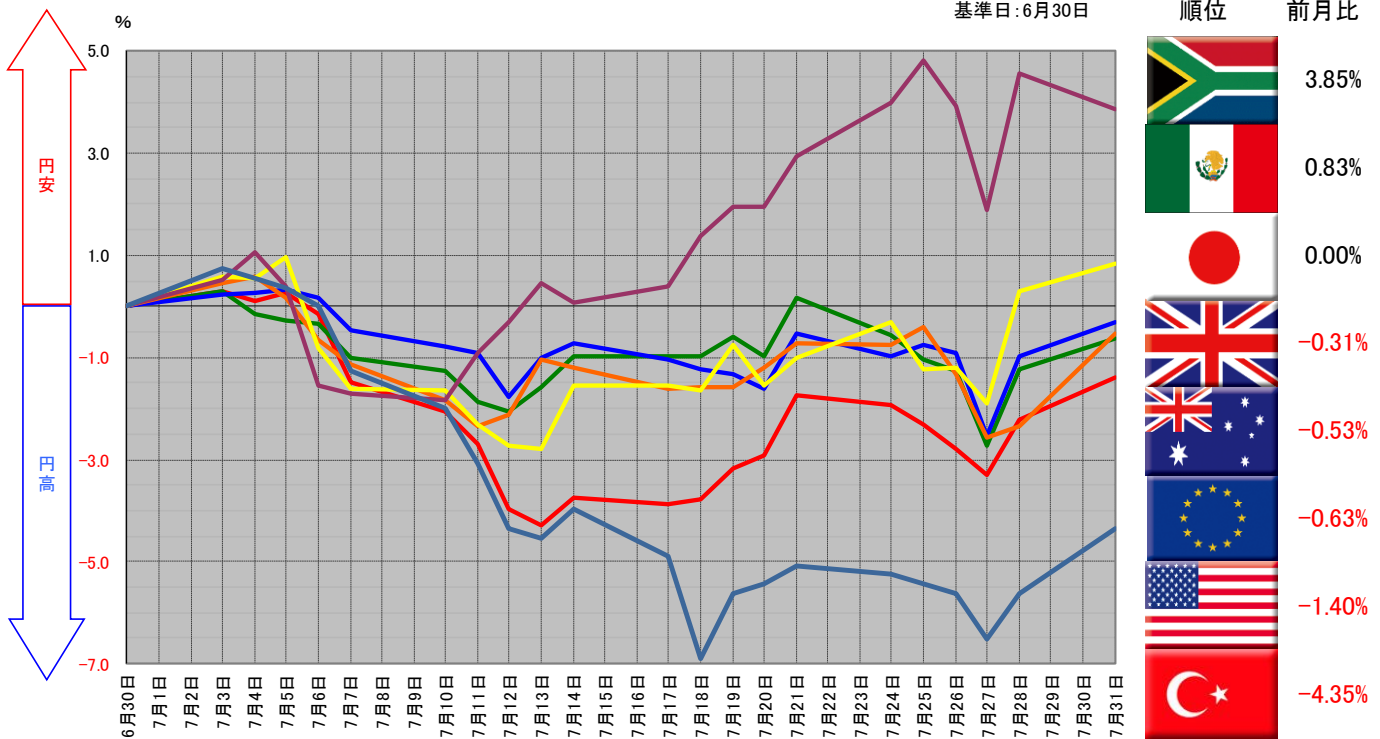
詳しくはホームページをご覧ください

AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

— 米ドル円 (基準値: 144.29) — ユーロ円 (基準値: 157.455) — ボンド円 (基準値: 183.22)
— 豪ドル円 (基準値: 96.095) — ペソ円 (基準値: 8.43) — ランド円 (基準値: 7.665)
— トルコ円 (基準値: 5.52)

7月31日時点評価



7月3日 ドル堅調、145円台を意識

ドルが堅調に推移。さらなる利上げに踏み込む姿勢の米国と、大規模な金融緩和を続ける日本の金利差が意識されている。日銀が昨年9月に24年ぶりとなるドル売り介入に踏み切った1ドル=145円台を窺う動きとなっており、先月27日には鈴木財務相が「最近では急速で一方的な動きもみられる。行き過ぎた動きに対し、適切に対応する」と述べたほか、同30日には「非常に高い緊張感をもって注視している」と発言するなど「介入」が意識される状況ながらも、ドルの底堅さが目立った。米ドル円は、7月の月間高値144.930をつける場面がみられた。

7月7日 米雇用統計

米労働省がこの日発表した6月の非農業部門雇用者数は前月から20万9,000人増と、市場予想の24万人増を下回った。就業者数が前月から27万3,000人増加し、失業者数が14万人減少した結果、失業率は市場予想と同じで、前月から0.1ポイント低下の3.6%だった。今回の雇用統計は、高金利と数カ月にわたる消費低迷で景気見通しに対する懸念が生じる中、労働市場が幾分か勢いを失いつつあることを示唆する内容となった。ただ、労働市場はなお十分健全で賃金の伸びも底堅く、7月FOMCでは利上げ再開の可能性が高いとの見方が広がった模様。また、米債券市場では、利上げ再開を意識してか10年債の利回りが4%を上回る急上昇局面に。米長期金利の上昇を受け、ドル高対抗のための日銀による介入への懸念が台頭した。米ドル円は、これまでの上昇に対するポジション調整を巻き込んで急落。142円割れ寸前まで売られる場面がみられた。

7月12日 米6月CPI

米労働省がこの日発表した6月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比3.0%上昇と、前月の4.0%から大幅に減速し、市場予想の3.1%も下回った。変動の大きいエネルギーと食料品を除いたコア指数は同4.8%で、前月の5.3%から減速し、これも市場予想5.0%を下回った。前月比ではCPI、コア指数ともに0.2%上昇で、市場予想はともに0.3%だった。実績値と市場予想とのずれは大幅ではなかったものの、金融市場は比較的大きく反応。米10年債利回りは、前日の4.0%台から3.68%台に大きく下落したほか、米ドル円も急落し、一時138.150をつける場面がみられた。

7月18日 トルコリラ円が一時的に5円割れ

トルコリラが急落。背景としては、20日の政策金利発表を控え、利上げ幅が市場予想の5%を下回るとの見方が広がったほか、トルコ国営銀行が通貨防衛を停止していることから思惑的なトルコ売りの動きが広がった模様。一時トルコリラ円は5円を割り込み、4.94をつける場面がみられた。20日には2.50%の利上げ決定となったが、大きな反応はみられず。

7月26日 FOMC

FRBはこの日、25日から開催していたFOMCで0.25%の利上げを全会一致で決めた。前回は、昨年3月から毎会合実施してきた利上げを見送る決定をしたが、労働市場の逼迫が続く中、物価上昇率は低下しているとはいえFRBの目標値である2%まではなお遠いことから、今回利上げの再開を決定。ただ、政策決定、声明文、パウエル議長の発言を含め、今回のFOMCでは異例なほどサプライズがなかった。米ドル円は売り買いが交錯する中ドル売りで反応。一時138.750まで下落した。

7月27日 ECB理事会

ECBはこの日の理事会で事前予想通りに0.25%の利上げを決めた。利上げは9会合連続。ユーロ圏では景気減速傾向が鮮明なほか、銀行の貸出姿勢が慎重になるなど、今までの利上げの効果はみられている。しかしながら、コアCPI(除く食料、エネルギー)は6月は+5.5%となったが、ピークの今年2月+5.7%から低下幅はまだわずかとなっている。次回9月については、コアCPIの内容次第との見方。

7月28日 日銀金融政策決定会合

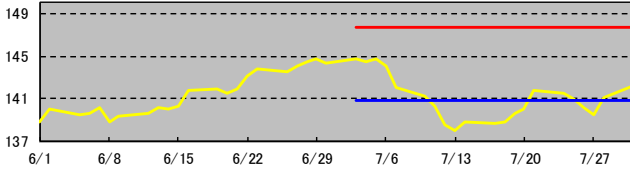
日銀はこの日の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール(YCC)に運用を柔軟化する措置を決定した。従来、日銀は10年債利回りの変動幅を0%の目標値から「±0.5%程度」としていたが、本日の決定では「±0.5%程度」を目途とする、とより柔軟化。背景としては、+0.5%を上回る利回り上昇を認めない姿勢を維持すれば、利回りが上昇して上限に接近する局面で日本銀行が大量の国債買い入れを強いられ、事実上の財政ファイナンスの傾向を強めてしまうといった弊害を減らす狙いがあるとみられる。昨年12月に日銀がYCCの変動幅拡大を決めた際には、「事実上の利上げ」として政策の見直しが一気に進むとの観測を強めたが今回、金融市場はより慎重な反応をみせた。

7月31日 長期金利上昇受け日銀が臨時オペ

この日、日本の10年債利回りが0.60%を突破し、2014年6月以来の高水準となった。これを受け、日銀は利回り上昇を阻止するため「臨時」の国債買い入れオペを通知。臨時オペ通知は2月22日以来で金融市場は即座に反応し、米ドル円は朝方の140円台後半から141円台後半へ円安が進行した。

ドル円

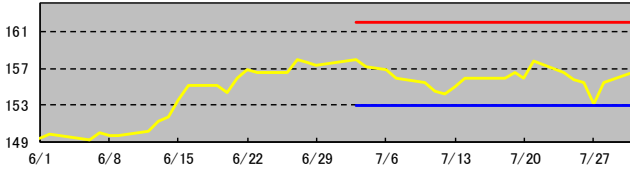
予想レンジ下限	予想レンジ上限
140.90	147.70



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ下限を下抜いた。

ユーロ円

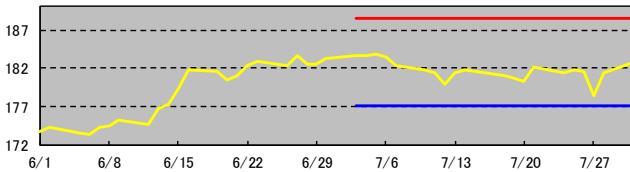
予想レンジ下限	予想レンジ上限
153.00	161.90



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、上値は限られた。

ポンド円

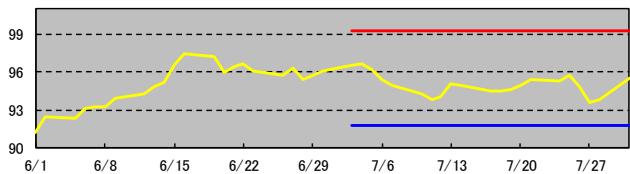
予想レンジ下限	予想レンジ上限
177.20	188.50



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、上値は限られた。

豪ドル円

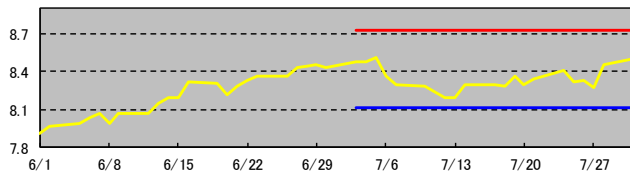
予想レンジ下限	予想レンジ上限
91.80	99.30



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ペソ円

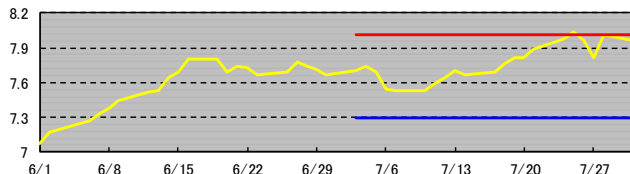
予想レンジ下限	予想レンジ上限
8.11	8.73



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ランド円

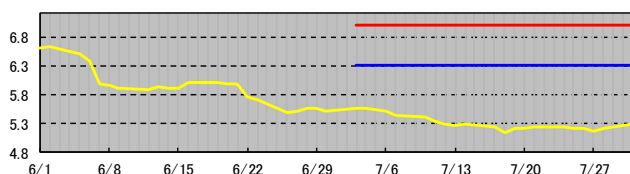
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.30	8.01



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
6.30	7.00



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ下限の下で推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

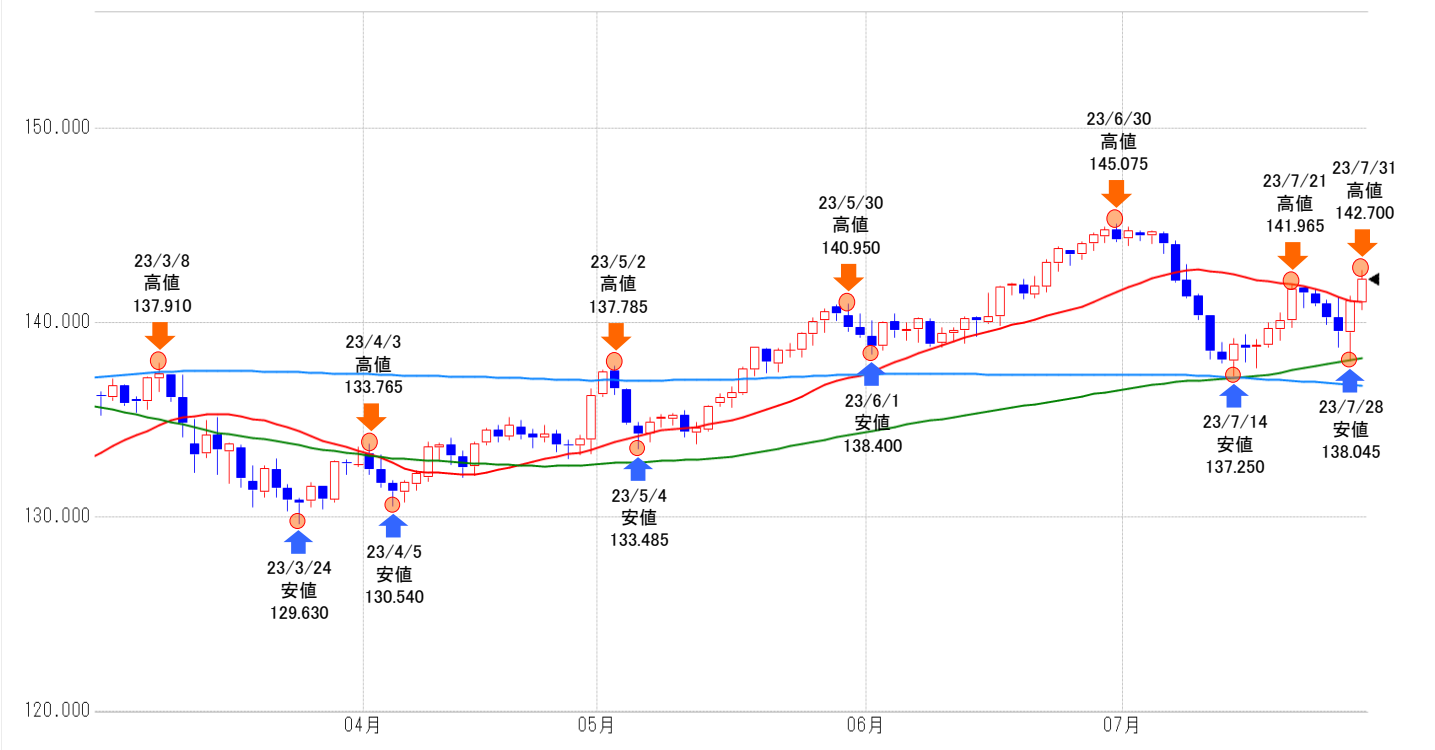
予想レンジ
 ↑ 145.80円
 ↓ 138.30円



2023年3月1日～2023年7月31日

米ドル/円 [日足]

移動平均線： -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、中期のトレンドを示す89日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(145.78)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、89日移動平均線(138.30)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(138.30)を下抜けた場合。この場合は5/16安値(135.65)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 22:45	7月製造業PMI		49.0	★★
8/1 23:00	7月ISM 製造業景気指数		46.8	★★★★
8/3 23:00	7月ISM非製造業景気指数		53.1	★★★★
8/3 23:00	6月耐久財受注(前月比)		4.7%	★★
8/4 21:30	7月非農業部門雇用者数		20.9万人	★★★★
8/8 21:30	6月貿易収支		-690億USD	★★
8/10 23:00	7月消費者物価指数(コア)(前年比)		4.8%	★★★★
8/15 21:30	7月小売売上高(前月比)		0.2%	★★
8/17 3:00	FOMC議事要旨			★★★★
8/23 22:45	8月製造業PMI			★★

<相場の格言>大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠くものである。)



2023年3月1日～2023年7月31日

ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目151円をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。節目160円では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(153.24)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(153.20)を下抜けた場合。この場合は89日移動平均線(151.00)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 17:00	7月製造業PMI		42.7	★★
8/1 18:00	6月失業率		6.5%	★★
8/3 17:00	7月サービス業PMI		51.1	★★
8/15 18:00	8月ZEW景況感指数		-12.2	★★
8/16 18:00	第2四半期GDP(前年比)		0.6%	★★★★
8/16 18:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		-2.2%	★★
8/17 18:00	6月貿易収支(季調済)		-9.0億EUR	★★
8/18 18:00	7月消費者物価指数(コア)(前年比)		5.5%	★★
8/30 18:00	8月景況感指数		94.5	★★★★
8/31 18:00	8月消費者物価指数(コア)(前年比)		5.5%	★★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

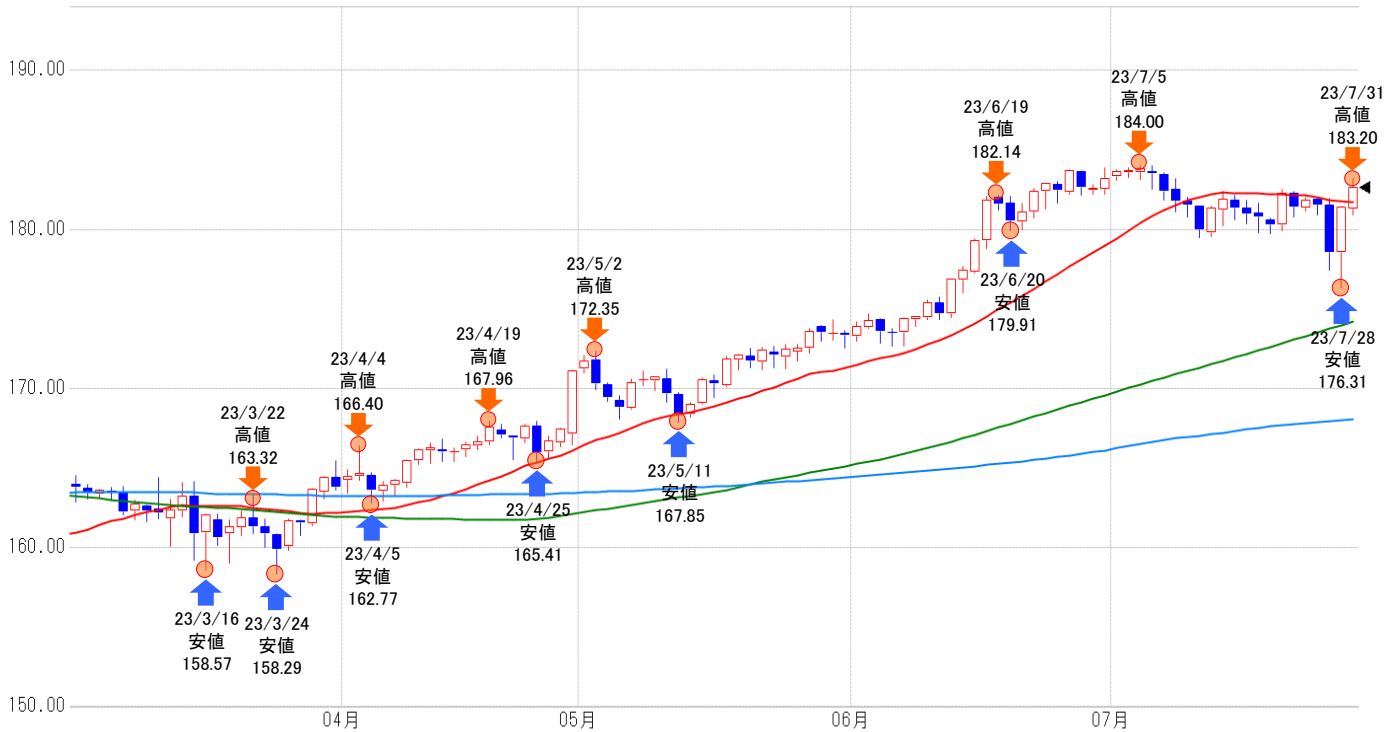
予想レンジ
 ↑ 186.70円
 ↓ 179.10円



2023年3月1日～2023年7月31日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、4/5安値と4/25安値を結んだ延長線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。15/12/4高値(186.65)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(179.11)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(179.10)を下抜けた場合。この場合は7/28安値(176.31)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 15:00	7月ネーションワイド住宅価格指数(前年比)		-3.5%	★★
8/1 17:30	7月製造業PMI		45.0	★★
8/3 17:30	7月非製造業PMI		51.5	★★
8/3 20:00	英中銀政策金利		5.00%	★★★★
8/4 17:30	7月建設業PMI		48.9	★★
8/11 15:00	第2四半期実質GDP(前年比)		0.2%	★★★★
8/11 15:00	6月鉱工業生産(前年比)		-2.3%	★★
8/11 15:00	6月貿易収支		-65.78億GBP	★★
8/15 15:00	6月ILO失業率		4.0%	★★
8/16 15:00	7月消費者物価指数(CPI)(前年比)		7.9%	★★★★

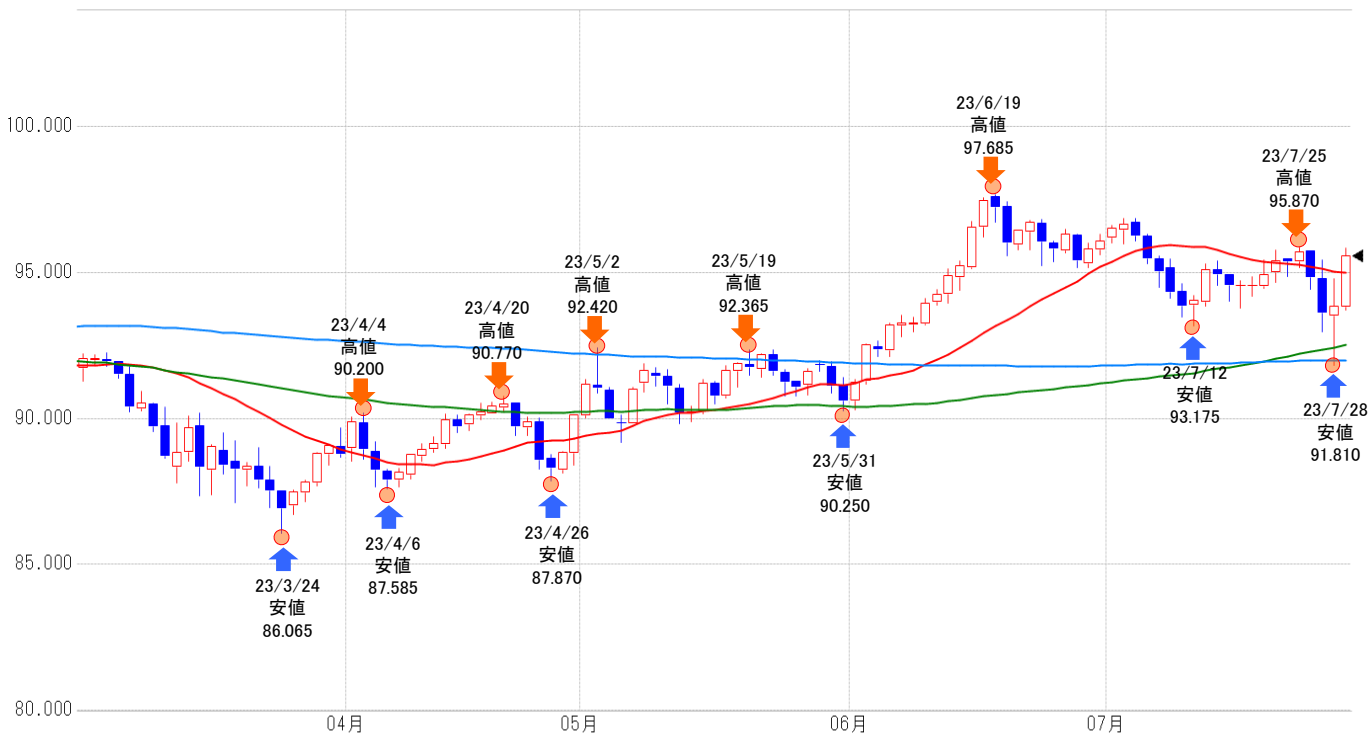
〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



2023年3月1日～2023年7月31日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線： -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、長期のトレンドを示す200日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。6/19高値(97.68)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(92.82)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(92.80)を下抜けた場合。この場合は6/2安値(91.18)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 10:30	6月住宅建設許可(前月比)		20.60%	★★
8/1 13:30	豪中銀政策金利		4.10%	★★★
8/3 10:30	6月貿易収支		117.91億AUD	★★
8/8 9:30	8月消費者信頼感指数(前月比)		2.7%	★★
8/16 9:30	7月Westpac先行指数(前月比)		0.11%	★★
8/17 10:30	7月雇用者数(前月比)		3.26万人	★★
8/17 10:30	7月失業率		3.50%	★★
8/28 10:30	7月小売売上高(前月比)		-0.80%	★★
8/30 10:30	7月住宅建設許可(前月比)		5.6%	★★
8/30 10:30	7月消費者物価指数(前年比)		6.00%	★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 8.720円
↓ 8.300円



2023年3月1日～2023年7月31日

メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/14安値(8.145)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(8.715)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、節目8.3円がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(8.300)を下抜けた場合。この場合は7/28安値(8.145)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/9 21:00	7月消費者物価指数(前月比)		0.10%	★★
8/9 21:00	7月消費者物価指数(前年比)		5.06%	★★
8/11 4:00	メキシコ中銀政策金利		11.25%	★★★
8/29 21:00	第2四半期実質GDP(前期比)			★★
8/29 21:00	第2四半期実質GDP(前年比)			★★

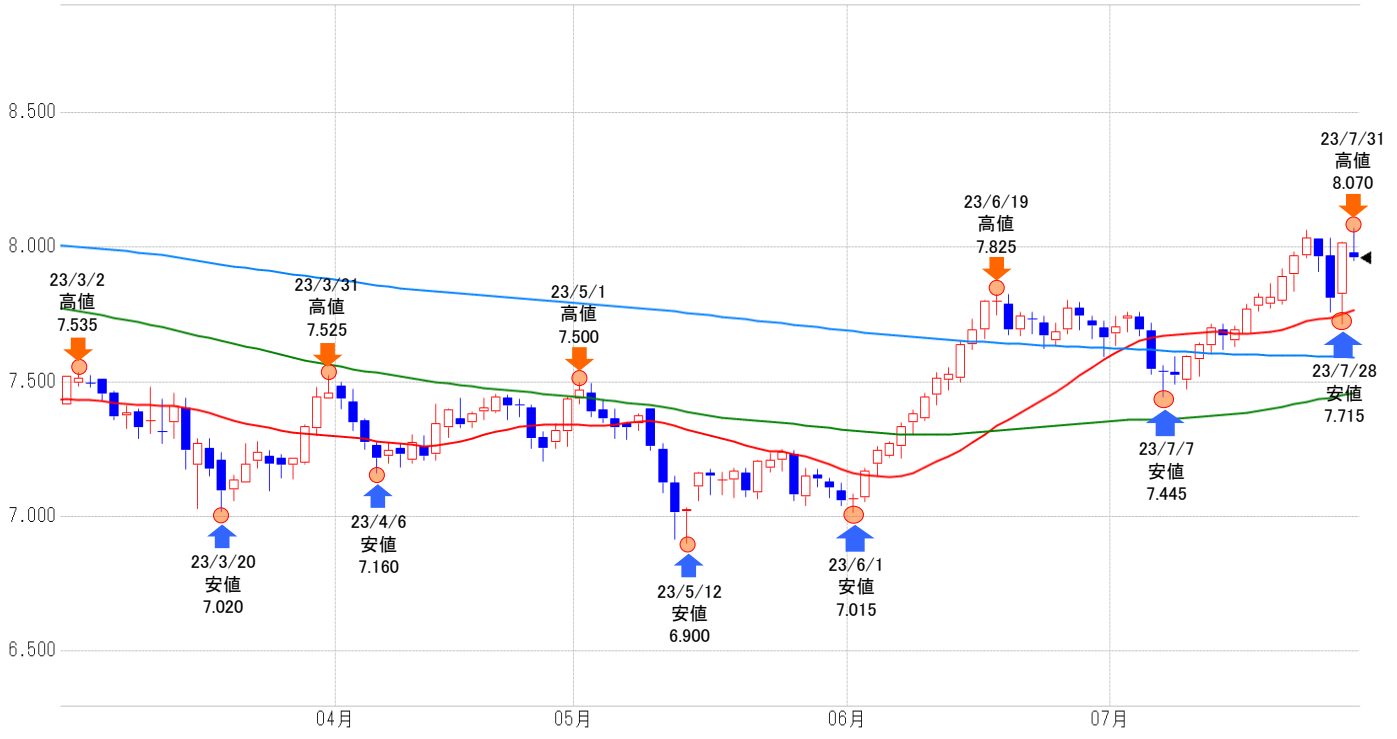
<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2023年3月1日～2023年7月31日

ランド/円 [日足]

移動平均線： -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。11/30高値(8.245)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(7.630)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.630)を下抜けた場合。この場合は7/7安値(7.445)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
8/2 8:50	日本	7月マネタリーベース(前年比)		-1.00%	★★
8/4 21:30	カナダ	7月失業率		5.40%	★★
8/15 8:50	日本	第2四半期実質GDP(前期比)		2.70%	★★
8/15 18:30	南アフリカ	第2四半期失業率		32.9%	★★
8/15 21:30	カナダ	7月消費者物価指数(前年比)		2.80%	★★
8/18 8:30	日本	7月消費者物価指数(前年比)		3.20%	★★
8/23 17:00	南アフリカ	7月消費者物価指数		5.4%	★★
8/29 8:30	日本	7月完全失業率			★★
8/29 8:30	日本	7月有効求人倍率			★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 5.70円
↓ 4.80円



2023年3月1日～2023年7月31日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目5.0円をサポートに、切り返しの動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7/6高値(5.68)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(4.81)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(4.80)を下抜けた場合。この場合は7月の値動きから導き出した計算値の下限(4.48)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 16:00	7月製造業PMI		51.5	★★
8/3 16:00	7月消費者物価指数(前年比)		47.00%	★★
8/3 16:00	7月生産者物価指数(前年比)		40.42%	★★
8/10 16:00	6月失業率		9.5%	★★
8/10 16:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		-0.20%	★★
8/11 16:00	6月経常収支		-79.3億USD	★★
8/23 16:00	8月消費者信頼感指数		80.10%	★★
8/24 20:00	トルコ中銀 政策金利		17.50%	★★★
8/31 16:00	第2四半期実質GDP(前年比)		4.0%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 1.1180
↓ 1.0730



2023年3月1日～2023年7月31日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線： -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、22/2/25高値(1.1268)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(1.1177)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/12安値(1.0734)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0730)を下抜けた場合。この場合は3/16安値(1.0550)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
22年	8月	3,240円	222円	2,513円	1,720円	5,511円	4,067円	677円	-23.17ドル
	9月	3,399円	789円	2,466円	1,968円	4,909円	3,426円	1,046円	-18.93ドル
	10月	4,068円	1,106円	2,892円	2,007円	5,604円	3,857円	1,006円	-19.88ドル
	11月	4,890円	1,990円	4,143円	2,261円	5,935円	4,292円	642円	-22.65ドル
	12月	5,509円	2,376円	4,663円	2,203円	6,191円	4,244円	531円	-26.81ドル
23年	1月	4,903円	2,531円	4,606円	2,245円	5,283円	3,858円	531円	-21.63ドル
	2月	5,009円	2,873円	4,989円	2,420円	5,747円	1,407円	532円	-19.32ドル
	3月	6,264円	3,938円	6,174円	2,907円	7,471円	4,702円	973円	-21.49ドル
	4月	6,423円	4,275円	6,689円	2,937円	8,318円	5,099円	1,402円	-12.59ドル
	5月	5,735円	3,917円	5,939円	2,651円	7,522円	4,205円	1,882円	-20.78ドル
	6月	6,283円	4,490円	7,280円	3,517円	7,852円	5,096円	1,604円	-16.96ドル
	7月	6,105円	4,608円	7,562円	3,298円	7,132円	4,949円	597円	-15.84ドル
	計	61,828円	33,115円	59,916円	30,134円	77,475円	49,202円	11,423円	-240.05ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	カナダ	南ア	トルコ	メキシコ
政策金利	2023年2月	-0.10	4.75	3.00	4.00	3.35	4.75	4.50	7.25	8.50	11.00
	2023年3月	-0.10	5.00	3.50	4.25	3.60	4.75	4.50	7.75	8.50	11.25
	2023年4月	-0.10	5.25	3.50	4.25	3.60	5.25	4.50	7.75	8.50	11.25
	2023年5月	-0.10	5.25	3.75	4.50	3.85	5.50	4.50	8.25	8.50	11.25
	2023年6月	-0.10	5.25	4.00	5.00	4.10	5.50	4.75	8.25	15.00	11.25
	2023年7月	-0.10	5.50	4.25	5.00	4.10	5.50	5.00	8.25	17.50	11.25
失業率	2023年1月	2.4	3.4	6.6	3.7	3.7	3.4	5.0	32.7	9.8	2.9
	2023年2月	2.6	3.6	6.6	3.8	3.5	3.4	5.0	32.7	10.2	2.7
	2023年3月	2.8	3.5	6.5	3.9	3.5	3.4	5.0	32.9	10.1	2.4
	2023年4月	2.6	3.4	6.5	3.8	3.7	3.4	5.0	32.9	10.2	-
	2023年5月	2.6	3.7	6.5	4.0	3.6	3.4	5.2	32.9	9.5	-
	2023年6月	-	3.6	-	-	3.5	-	5.4	-	-	-
GDP	2021年 4Q	1.2	7.0	4.7	6.6	4.6	6.0	1.7	1.7	9.6	1.2
	2022年 1Q	-0.7	-1.5	5.4	8.7	3.1	5.2	0.6	2.7	7.6	1.0
	2022年 2Q	1.4	-0.6	4.2	4.4	3.1	1.2	0.9	0.2	7.8	1.1
	2022年 3Q	-0.4	2.9	2.3	1.9	6.0	2.9	0.6	4.2	4.0	0.9
	2022年 4Q	0.1	2.7	1.8	0.6	2.6	2.7	0.0	0.8	3.5	0.5
	2023年 1Q	0.7	-	1.0	0.2	2.3	2.9	0.8	0.2	4.0	1.0
10年国債	2023年2月	0.501	3.914	2.634	3.824	3.874	4.590	3.338	10.110	9.99	9.299
	2023年3月	0.324	3.490	2.366	3.489	3.310	4.225	2.899	9.830	10.31	8.829
	2023年4月	0.398	3.464	2.320	3.717	3.386	4.110	2.840	10.180	12.60	8.779
	2023年5月	0.406	3.637	2.279	4.179	3.604	4.333	3.186	11.300	10.23	8.794
	2023年6月	0.396	3.819	2.394	4.387	3.983	4.654	3.271	10.510	16.34	8.774
	2023年7月	0.604	3.957	2.467	4.312	4.058	4.726	3.502	10.215	18.41	8.868

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり2,150円~72,450円(2023年8月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員